

# 鷺沼小の鷺っ子まつりと 実花小の40周年記念文化祭に参加しました

原田益次（「世界を知ろう」サポートプラン実行委員）

10月25日（土）、市内鷺沼小学校で「鷺っ子まつり」が開催されました。

これは同校PTA主催の様々な催し物に、保護者と子供たちが一緒に参加して楽しむという、秋のこの時期毎年行われる定例行事です。NIAの日本語教室部会の学習者と日本語ボランティアにも参加の要請があり、私達「世界を知ろう」サポートプラン実行委員会は「世界の人にあいさつしよう」をテーマに外国人と子供たちの交流イベントを行いました。去年に続き2回目の参加です。参加者は9カ国13名の学習者と、ボランティアやNIA関係者、合わせて44人でした。

会場の教室は人気の高い駄菓子教室の隣で、廊下は万国旗でにぎやかです。参加9カ国と世界のコイン紹介コーナー、ゲームを担当するNI-Youthのコーナーの計11個のブースをセットし、それぞれの国旗やシール、展示品を用意、子供たちの入場を待ちます。11時のオープンとともに、いろいろな会場を回って子供たちがやってきました。子供たちは入り口でサインラリーの用紙をもらい中に入ると、中国のフーエーさん、キョウさん、メキシコのルイスさん、フィリピンのジェシカさん、リカさん、ベトナムのレ タインさん、マレーシアのメイさん、フランスのマキシムさんのそれぞれのブースであいさつを交わし握手してもらいます。そしてラリー用紙にその国の国旗シールを貼ってもらったり、名前や挨拶の言葉をサインしてもらいました。元気よく「ニイハオ」と答える子がいるかと思うと、スペイン語のこんにちは「ブエノスデアス」を何度も繰り返す子や、握手の手を出

ラウラさん（ロンドニア）



ルイスさん（メキシコ）



マキシムさん（フランス）



サヒミラさん（右）と娘さん（左）（ネパール）



メイさん（マレーシア）



されて恥ずかしそうに握る子などもいて様々です。国旗カードを使ったゲームコーナーや世界のコインコーナーにも子供たちが集まってきました。

やがてアトラクションタイムとなり、民族衣装も鮮やかなインドのモナリさん、アナミカさんによるダンス、ネパールのサヒミラさんの3歳の娘さんのネパール音楽に合わせての可愛いダンス、コロンビアのラウラさんの迫力のダンス、中国のキョウさんの太極拳なども披露されました。NI-Youthによる世界常識〇×クイズや国当てクイズも盛況で、景品をゲットした子供たちが歓声を上げました。

賑わいが続く中で午後2時に終了しました。昨年180枚配ったサインラリー用紙が今年230枚でも足りないほど盛況でした。子供たちに聞いた出口調査の結果は、「面白かった」と答えた子が39名中38名、「また来たい」が21名中19名でした。回って来られた校長先生にも喜んでいただけて、成功といえるでしょう。

11月15日(土)は実花小学校でのイベントに参加しました。こちらは「こどもまつり」ではなく、創立40周年を記念しての文化祭です。市の関係者や保護者を招待しての記念式典の後、子供たちの研究発表が各教室で行われ、その一つとして私達も「世界の人にあいさつしよう」の教室で参加し、子供たちと交流することができました。参加者は8カ国14名の学習者、17名のボランティアの合計31名でした。

今回は、中国の金子さんと息子さん2人、メキシコのルイスさん、ペルーのラモスさんと八木義明さん、ベトナムのフィエンさん夫妻、ブラジルのセリーナさんとアナさん、フィリピンのリカさんとジェシカさん、ネパールのアラジュンさん、インドのジェイさん、以上8つの国のブースと世界のコインコーナーです。

モナリさん(左)とアナミカさん(右)(インド)



フーイー(左)さんとキョウさん(右)(中国)

〇×クイズ  
NIユースのメンバーによる



金子さん(中央)と家族(中国)

フィエンさん(左)とマインさん(右)夫妻(ベトナム)



ジェシカさん(左)とリカさん(右)(フィリピン)

10時半にイベントはスタート。子供たちは日本語や各国の言葉であいさつしたり、国旗のシールを貼ってもらって握手したり、各国の観光地や特産品などの説明にうなずいたり、質問したりして交流が進みます。次から次へと子供やその保護者が来てくれたので、用意していた「英語のゲーム」をするスペースがないほどでした。ほとんどの外国人はカラフルな民族衣装で、いろいろな国の言葉が飛び交い、大変にぎやかな交流の場となりました。

12時になり、心残りの様子の子供を見送って終了。280枚用意したサインラリーの用紙がほとんどなくなり、今回も行った出口調査の結果は、「面白かった」が31名中30名、「また来たい」が31名中31名で、こちらも大盛況でした。

笑顔でサインをし、何度も母国語でこんにちはを繰り返し、大きな声で自国を紹介している外国人を見ているとこちらもうれしくなってきます。見に来られた校長先生から「こんなに大勢の外国の人と話ができ子供たちも喜んでいきます」と言っていたのを励みに、私達「世界を知ろう」サポートプランの実行委員会はこれからもより一層頑張っていこうと思いました。

2日にわたって、外国人延べ26名、日本語ボランティアほか延べ48名の皆さん、本当に有難うございました。皆さんのご協力なしには出来ませんでした。謹んでお礼申し上げます。



世界のコインコーナーの進藤さん



ラモスさん(右)と八木さん(左(ベルー))



セリーナさん(右)とアナさん(左(ブラジル))



アラジュンさん(ネパール)



ジェイさん(インド)



実花小に参加のみなさん